

外壁タイル剥落防止15年保証工法

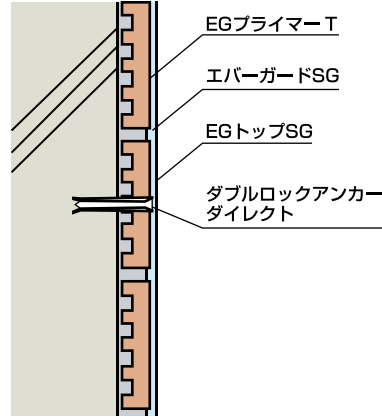
EVERGUARD SG-KGK15工法

一般社団法人機能性外壁改修工業会

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F
TEL 03-6434-7481 FAX 03-6434-7792
URL https://www.kgk-wall.jp/ mail ホームページより問い合わせ
[支部] 北日本・関東・東京・中部・西部・九州



施工事例



施工断面図

概要

EVERGUARD SG-KGK15工法は、劣化部のみ補修工事では実現できなかった潜在的な“浮き”に対処する予防保全の考え方を取り入れ、タイル張り外壁面全体で剥落工事を防止する工法である。

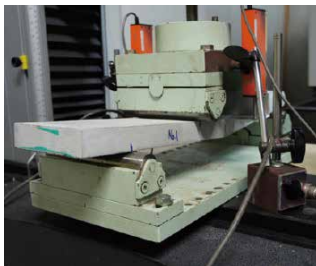
ステンレス製の専用アンカーピンにてタイル・張付けモルタル層を躯体に固定し、塗膜強度が高く耐久性に優れた、透明度の高い特殊1成分形ウレタン樹脂でタイル面を被膜することで、既設タイル壁の風合いを極力損ねることなく、剥落を防止する。過去の実績をもとに、剥落防止15年保証を実現した。

特長

1. 抜群の塗膜性能と耐久性

UR都市機構の外壁複合補修工法の要求性能試験にすべて合格。

項目	判定基準	EVERGUARD SG
コンクリート躯体に対するアンカーピンの引抜き試験	1,470N 以上	3,171N
複合補修層に対するアンカーピンの引抜き試験	1,470N 以上	3,701N
複合補修層の接着強度試験	0.7N/㎡	4.8N/㎡
複合補修層の補強効果確認(面外曲げ)試験	曲げ強度が490Nもしくは変位が30mmで破断しないこと	変位30mm以上
温冷繰り返しに対する耐久性試験	0.5N/㎡	1.4N/㎡



複合補修層の補強効果確認(面外曲げ)試験



温冷繰り返しに対する耐久性試験

2. 振動に強い

タイル張り仕上げ層との層間が浮いているコンクリート試験体表面に、EVERGUARD SG工法を施工した試験体と施工しない試験体を作製し、東日本大震災相当の負荷を掛けて振動実験を行った。工法を施工した試験体は、面でタイルの剥落を防止したため、剥落を起こさなかった。



未施工



EVERGUARD SG工法を施工

3. 燃焼広がりを抑える

高層マンションにおける火災事故の報道により、有機材料を用いた外壁塗材の燃焼性への関心が高まっている。ファサード試験の結果、EVERGUARD SG工法を施工した試験体とタイルを露出させた試験体では、ほぼ燃焼の広がりに違いは無いことが確認された。

試験体

試験体記号	試験体仕様	剥落防止工法の有無	仕様名
A	モルタル下地	有	SG-1
B	コンクリート直張	有	SG-3
C	コンクリート直張	無	—

試験結果

試験体記号	A	B	C
延焼状況			

試験体A~Cの表面に延焼は見られなかった。
また、EVERGUARD SG工法の浮き面積は、燃焼面積とほぼ一致した。